

2024年度 沖縄カトリック小学校 教職員アンケート

37名中 37名回答 回答率：100%

(評価) A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

◎:評価A+Bが90%以上 ○:評価A+Bが80%以上 ▲:評価C+Dが20%以上 ▲▲:評価C+Dが30%以上

	質 問	4	3	2	1	
1	日々のお祈り等を通して、カトリック的精神を大切にしている	78	22	0	0	◎
2	子ども達が自己肯定感を高められるような声掛けを意識している。	54	43	0	3	◎
3	学校や教室を安全清潔に保ち、気持ちの良い学習環境に気を配っている	57	38	3	3	◎
4	学校や児童の様子が保護者や外部に伝わるように心掛けている	32	54	11	3	○
5	全員が基礎・基本を定着できるような指導を行っている	49	51	0	0	◎
6	学習の個別な状況を把握しようと努め、適切な指導を行っている	49	51	0	0	◎
7	重点目標を意識した授業計画を立てるように心掛けている。	65	32	3	0	◎
8	指導力・授業力向上のために研修にすすんで取り組んでいる。	30	62	8	0	◎
9	言葉遣いや挨拶など、児童の模範となる言動を心掛けている	43	54	3	0	◎
10	安全な生活の仕方等、学校生活のルールについて指導している	73	24	3	0	◎
11	姿勢や基本的な生活習慣の大切さを日頃から指導している	59	38	3	0	◎
12	望ましい人間関係の形成や自他の命の大切さなどについて指導している	70	30	0	0	◎
13	清掃や校外活動、奉仕部活動を通して公共性を養う指導をしている	59	30	11	0	○
14	学校での様子から家庭への協力が必要な場合に連絡・連携をとっている	68	32	0	0	◎
15	教職員同士、いつも明るく笑顔であいさつするように心掛けている	51	49	0	0	◎
16	保護者対応や来客、電話などの際に、丁寧な対応を心掛けている	81	16	3	0	◎
17	学園のブランドイメージの向上に資する身だしなみ等を心掛けている	35	54	11	0	○

※黄色：良かった項目 青色：改善が必要な項目

※C・Dと評価された項目について、今後の改善策等を入力してください。

- ・最低でも、Bに向かっていけるように頑張ります。気を抜かないように頑張ります。
- ・教員の服装の統一性がない。
- ・3については、机やロッカーが乱れている教室が多いと思います。
- ・8の研修については人による差異があると思います。
- ・自覚を持ち対応したいと思います。
- ・「学校や児童の様子が保護者や外部に伝わるように心掛けている」について、授業での様子の写真をClassroomに載せられたらと思っていますが、なかなかできていません。良い機会があれば載せたいと思っています。
- ・13、公立に研修で行きましたが、清掃が不十分と思いました。学校全体を児童清掃するとなると教員の配置が追い付かないので、割り切って児童の清掃範囲を狭めてしっかり清掃できるように指導していくといいのかなと思います。(ある部分は業者など別で考える。)
- ・17「学園のブランドイメージの向上に資する身だしなみ」がよくわかりません。行事や面談、参観など保護者の前に出るとき、体育の授業のときなど、適宜場にあった服装をするようにはしています。

①良かった点

・A評価が一番高かったのは、項目16の「来客や来客、電話などの際に丁寧な対応を心がけていますか」であり、来客や保護者に対して適切に対応していると思われる。

・他にも、A評価で70%を超えている項目が3項目あり、「日々のお祈り等を通して、カトリック的精神を大切にしている」また、「安全な生活の仕方等、学校生活のルールについて指導している」「望ましい人間関係の形成や自他の命の大切さなどについて指導している」の3項目である。カトリック学校の教職員として、日々のお祈りや聖書のみ言葉を大事にしながら教育にあたる表れだと感じる。また、教職員が本校の教育理念や建学の精神を常に意識し「めざす子ども像」に近付けるよう日々実践していると考えられる。

・項目7「重点目標を意識した授業計画を立てるように心掛けている」に関しても、昨年度から掲げている重点目標を意識した授業づくりや、その実現に向けた研修等の参加、自己啓発の動きもあらゆる場面で垣間見られるようになってきた。教職員同士が「めざす子ども像」により近付ける為の情報交換する場面も多く見られるようになってきたと感じる。

②課題点に伴う改善

・項目4、「学校や児童の様子が保護者や外部に伝わるように心掛けている」が保護者からの評価としてはあまり思わしくない結果となった。日々のクラスルームの更新にも行事前や時期的な事、また学年によって更新する頻度に多少の差はあるものの、コロナ過が明け保護者が来校する機会も増えたこともあり、目の前の児童に向き合える時間も増えてきた。日頃の教育活動を、保護者目線でもっと工夫しながらお伝えする方法を検討していきたい。

・項目13、「清掃や校外活動、奉仕部活動を通して公共性を養う指導をしている」に関しても今後の課題点となった。私立学校ということもあり、学校生活の中でも地域との繋がりがなかなか持っていないことも反省のひとつである。まずは、学校生活の中でできることは、自分達の学校の誇りを持ち地域社会とどう繋がって、自分たちには社会の一員として何ができるのかを考える場も大事にしていきたい。学園のモットーでもある人への奉仕、愛の実践を日々の行動を具体的に児童と考えていきたい。